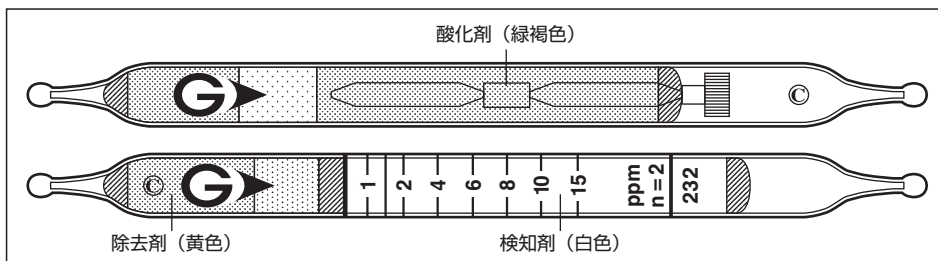


1,2-ジクロロエタン $\text{ClCH}_2\text{CH}_2\text{Cl}$

No.232

1,2-Dichloroethane



仕 様

測定範囲	1 ~ 15 ppm	15 ~ 39 ppm
吸引回数	2回(基準) (200ml)	1回 (100ml)
係 数	1	2.6
測定所要時間	4 分	2 分

検知限度： 0.25 ppm (2回吸引)

変 色： 白色 → 淡紫色

温・湿度補正： 温度

有効期限： 1年 冷蔵庫保存 (10℃以下)

指示精度：

G CV=15%

目盛範囲の1/3

CV=10%

目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

酸化剤で1,2-ジクロロエタンを分解し塩素を発生させ、この塩素が3,3'-ジメチルナフチジンと反応して淡紫色を呈する。



干渉ガス

ガ ス 名	共存濃度	干 渉	単独の場合
二酸化炭素		影響しない	変色しない
塩素	0.5ppm以上	+	0.15ppm以上で淡紫色に変色
クロロピクリン	0.3ppm以上	+	2ppm以上で淡紫色に変色
クロロホルム	2ppm以上	+	2ppm以上で淡紫色に変色
四塩化炭素	5ppm以上	+	15ppm以上で淡紫色に変色
1,2-ジクロロエチレン	1ppm以上	+	0.3ppm以上で淡紫色に変色
臭化メチル	0.1ppm以上	+	0.1ppm以上で淡紫色に変色

校正用ガス

ガス拡散管法